



# ばっぺーる通信

## セルフロックダウンと自粛ってどう違うの号

ばっぺーる通信とは…ワーカーズホームの活動報告やお知らせなどを皆さまへお伝えする通信です。興味を持って読んでくださったらうれしいです。そしてコーヒーを注文していただけるともっとうれしいです。

### ばっぺーる店長Talk

#### 感染対策しながらも新しいことに挑戦したいです

5月からずっと続いている緊急事態宣言が8月末まで延長になり、「自粛」は「セルフロックダウン」と耳障りのいい言葉に置き換えられ、でも県外からは観光客が、国外からは五輪選手が来て、でも東京で行われた助成金の授賞式と自分の父親の法事には参加できず、なんだかなあ、と最近やや斜に構えがちな店長ですが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

できる限り感染予防に気をつけながら活動を継続していますが、特に困るのは事業所への見学です。カフェは開店していますのでいつも通り入って見学できるのですが、事業所への入室はメンバーと職員だけとしているため、庭から室内を見ていただいたりしています。小さな事業所なので外からでもほとんど見て頂けるのは幸いです。

先日は東京の津田塾大学の方々が企画されている「学びの危機」ワークショップの中で私たちの事業所を取り上げていただきました。これは特別支援学校に通っている学生の方、大学生の方、支援に関わる方向けに働く多様性について紹介するもので、事前に撮影した動画を見ながら事業所と農園、カフェを紹介していくというオンラインの社会科見学でした。

当日は60名以上の方々に参加し、動画を見ながら私たちのお仕事を紹介しました。進行の方には事前にコーヒーをお送りし、カフェを見学した後、実際に飲んでいただきました。

私自身、人前に立つことがあまり得

意ではなく、これから社会に出る学生のみなさまのお役に立てれば、とお受けしたのですが、当日はやっぱりうまく話できなかった、という思いで終えました。あれも、これも話したかった、と後から思い出す始末です。ですが、参加者のみなさまが書いてくださった感想を読むとても好意的に受け取っていただけたようです。私たちのメンバーにそれを読んだところ、涙を溜めて喜んでいる方もいました。

緊急事態宣言の最中ではありませんが、アイデア次第で色々楽しいこと、新しいことができるんだな、と気付かせてもらったイベントでした。

### 今月のカフェ

#### 夏のマンゴー祭り大盛況のうちに終了



きっかけは那覇で青果業を営んでいる店長弟の「アニキ、マンゴー売る？」でした。ただでさえ客数の少ないカフェで果たして売れるか心配でしたが、のぼりをたてて宣伝すると毎日完売状態！ マンゴー買うついでにアイスコーヒーを飲んでくれる方もいて、これに味をシメた店長は野菜販売を目論んでいるとかいないとか。

### 今月の農園

#### 台風一過の農園では…



先の台風は本島中部は暴風こそ短い時間でしたが、数日に渡って強風が吹き、畑の木々が心配でしたが、コーヒー、コットンともに倒れることなく、実を落とすことなくやり過ごすことができ一安心です。



↑ コーヒーの木に台風  
の風から避難している  
オオゴマダラを発見

← 強烈な日差しの下でたくさん  
の実をつけるコーヒーの木

ワーカーズホームの商品はこちらからお買い求めいただけます。→



ばっぺーる通信 Vol.09No.05  
2021年8月1日発行  
発行 一般社団法人むら  
沖縄県宜野湾市大謝名 4-6-28  
電話 098-955-1692  
Eメール info@muraokinawa.org  
Web muraokinawa.org

ワーカーズホームのコーヒーが飲めるのはワーカーズホームカフェだけ！